「合格のための3年間」のスケジュール

1年[自己の在り方を考える]

★入学式

1

学

期

- ★職業適性・基礎学力調査
- ★進路セミナー

【学習習慣を確立する】

中学校よりも、学ぶ科目数が増え、内容も高度になる高校の授業に対応するため、毎日、自宅で学習する習慣を確立することが大切です。



【中だるみに注意する】

入学した時の緊張感が薄れ、中だるみが始まる時期です。入学したときの気持ちを思い出し、定期考査や模擬試験などの復習をおこない、学習習慣を維持することが大切です。



【自分の生き方を考える】 将来、どんな職業に就きた

将来、どんな職業に就きたいか、どんな生き方をしたいかを考えることが大切です。近くにいる大人たちに相談してみましょう。



2年[自己の将来を選択する]

- ★進級
- ★基礎学力調査
- ★進路セミナー
- ★学部別進路ガイダンス

【学部・学科を調べる】

学部・学科の内容やどの 大学でどんな勉強ができ るのかを調べ、夏休みに 開催される大学のオープ ンキャンパスや秋の選択 科目の決定に備えること が大切です。



- ★小論文模試
- ★オープンキャンパス

【学校見学に参加する】

夏休みを利用し、自分がやりたい勉強ができる大学のオープンキャンパスに参加しましょう。その際、入試科目や入試方法を調べ、秋の選択科目決定に結び付けることが大切です。



【語れる経験をする】

英国研修・ベトナムスタディツアーなどを活用し、 貴重な経験をする。

3 年 [自己の能力を伸長させる]

- ★進級
- ★進路セミナー
- ★入試別進路ガイダンス

【第1志望校を決める】

第1志望校を決定し、目標を明確にする時期です。ただし、受験科目は英語と現代文に絞り込まず、古文や地歴・公民など3科目以上を幅広く学習し、新聞にも目を通しておくことが大切です。



- ★志望理由書模試
- ★第1回面接ガイダンス
- ★模擬試験
- ★夏期講習

【苦手科目を克服する】

夏休みは苦手科目を中心に300~400時間の学習が必要です。また、暗記を要する内容は広範囲学習しましょう。学校推薦型選抜・総合型選抜の受験者は志望理由をまとめておくことも大切です。



- ★基礎学力調査
- ★職業ガイダンス
- ★選択科目説明会

【方向性を検討する】

将来を見据えて、語学系・ ビジネス系・国際系など の分野・方向性を考えた 上で、2年生での選択科目 を決めることが大切です。



【英語検定・簿記検定】

英検2級・簿記検定1級の取得は、大学受験において、とても有効な手段となります。資格取得の準備をすることが大切です。



- ★イングリッシュキャンプ
- ★簿記検定・英語検定

【学力を把握する】

1年生の総まとめとして、 模擬試験などを活用し、自 分の学力を確認しましょ う。その際、全国の高校生 と自分の成績を比較し、学 習習慣が身についている かについて、反省すること も大切です。



★卒業生講話

- ★選択科目説明会
- ★基礎学力調査
- ★進路ガイダンス
- ★小論文ガイダンス
- ★小論文模試

【入試を理解する】

選択科目を決めたら、大学 入試のシステムや各大学 の偏差値を理解すること が大切です。自分がどの方 法を選ぶのか、この時期に 検討を始めることも大切 です。



★大学・上級学校訪問



★模擬試験

【進学体制を確立する】

2年生3学期は3年0学期であることを自覚し、3年4月からすぐに進学に向けた学習のスタートが切れるよう、科目ごとの学習方法を確立しておくことが大切です。



- ★大学・上級学校授業体験
- ★卒業生講話

- ★小論文・面接指導
- ★総合型選抜 開始
- ★指定校制・公募制 校内選考
- ★学校推薦型選抜 開始
- ★進学後のための講話

【冷静に勉強を続ける】

周囲で進路が決まり始め る時期ですが、焦らず淡々 と勉強しましょう。

総合型選抜や学校推薦型 選抜で合格が決定しても、 一般選抜で入学する生徒 と一緒になる訳です。基礎 学力をしつかり身につけ、 大学入学の準備をすること も大切です。

一般選抜では、周りに左右 されず、第一志望を貫き、 粘り強く入学試験に向き 合うことが大切です。



大学入学共通テスト



一般選抜

★卒業式